

沖縄県・兵庫県友愛提携30周年記念共同声明

沖縄県と兵庫県は、沖縄が本土復帰を果たした年の昭和47年11月に友愛提携を締結して以来、30年間にわたって相互理解と友情を深めてきた。

折しも、今年が友愛提携30周年の記念すべき年にあたり、稲嶺恵一沖縄県知事が「島田叡さんを語り継ぐ会」へ出席するため兵庫県を訪問する一方、井戸敏三兵庫県知事を団長とする友愛の架け橋訪問団が沖縄県を訪問するとともに、両県で観光物産展の開催、民俗芸能保存団体の交流、青少年の「友愛キャンプ」など各分野で活発な交流を行った。そして、本日、多数の両県民が一堂に会し、この記念すべき年を祝うことができた。

沖縄県知事と兵庫県知事は、両県が有する豊かな自然、歴史や文化に彩られた地域の独自性や多様性を生かしながら、21世紀を担う青少年の交流、芸術文化の交流、地域の特色ある産業の交流等あらゆる分野での相互交流を通じて、両県民のふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、友愛の絆をさらに深めていくことに合意した。

以上のことを確認し、平成14年9月16日、沖縄県那覇市において、沖縄県民式典参加者及び兵庫県友愛の架け橋訪問団の立ち会いの下にこの声明書に署名する。

沖縄県知事

稲嶺 恵一

兵庫県知事

井戸 敏三